



# 本郷台小 だより

12月

横浜市立本郷台小学校  
令和4年11月30日  
栄区本郷台一丁目6番1号  
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

## 台小の宝物

校長 原 南実子

10月に蒔いた台小農園のダイコンやホウレン草がぐんぐん育ってきました。各クラスの農園当番が、毎日草取りをしたり水やりをしたりして丁寧に世話を続けています。成長していく植物の生命を日々感じることができること、成長の喜びを実感できること、そんな環境が台小にはあります。11月11日は本郷台小学校の48回目の創立記念日でした。記念講話として、今年度は学校地域コーディネーターで畑ボランティアでもお世話になっている松尾さんに、台小農園の歴史についてお話をしていただきました。そのお話を聞き、台小農園を通して子ども達の豊かな心の育成が図られてきたことを学校だよりに残し、保護者や地域の皆様、教職員、そして子ども達とともに心に刻みたいと思いました。

10月25日、1年生と6年生と一緒に育ててきたサツマイモほりをしました。1・6年生が協力して、丁寧に土をどかそうね、大きなおいもがでてきたよ、と仲良くイモほりをしていたのが嬉しかったです。

14年前に、その時の益田校長先生から、校舎の後ろに花壇があるけどそれを畑にしたい、という話を聞きました。学校の授業の中に、地域から専門的な人をお願いすることはとても大切なことだと思っていましたので、その時から台小農園に関わってきました。その当時の台小農園は草ぼうぼうだったり、木の根っこが伸びていたり、石ころだらけだったり、畑という状態ではありませんでした。まずは、農業に詳しい地域の田中健次さんに協力していただき、2人で草取り、石拾いをしました。台小農園の始まりは平成21年8月29日、前期第2ステージ始業式があった夏休み明けの暑い暑い日でした。わずか1か月で畑を整備し、9月に初めて2年生がジャガイモを植え、12月に収穫したのが台小農園初めての野菜でした。次の年の1月、収穫したジャガイモを、交流していたやまゆり保育園の子ども達に2年生が皮むきのやり方を教え、そのジャガイモを入れた味噌汁を地域の人たちに協力して作ってもらい、一緒に食べることができました。

台小農園はジャガイモ作りから始まりましたが、次の年からは今のように1年から6年まで、学校の勉強に合わせてたくさんの野菜を作ることができました。例えば、サツマイモ、ジャガイモ、トマト、大根、なす、キュウリ、ピーマン、枝豆、スイカ、ポップコーン、ほうれん草、かぶ、ゴーヤ、ひょうたん、へちまなどです。コロナ前は、収穫した大根を地域の人たちと一緒に、みんなで調理して、おいしいみそ大根を食べることができました。台小農園は最初、田中さんと2人で始めましたが、徐々に地域の畑ボランティアの人が増え、皆さんとの交流も深まってきました。台小農園ではいろいろな野菜を地域の畑ボランティアの人たちの力を借りて、6年生まで6年間、土に触れる、水やり・草取り・収穫をする・片付けをする・収穫パーティーをする素晴らしい体験活動を行うことができます。他の学校にはない財産があります。ボランティアをして嬉しいことは、みんなが笑顔で挨拶をしてくれたり、大根が苦手な人でもみんなと一緒に作るとおいしいと食べてくれたり。その時は最高でした。今はコロナ禍で食べたりすることが制限されていますが、台小農園はコロナに負けず台小でしか体験できない野菜作りをみんなの力でやることができます。おいしい野菜を作るためには、みんなで協力して、草取りをしっかりとってほしいです。台小の宝物「台小農園」を続けていくのはあなたたちです。私たち地域ボランティアは温かく見守り、協力していきます。台小農園の歴史は台小みんなの歴史です。創立記念日で本郷台小学校が大事にしてきた財産のことを伝えることができるととても嬉しく思います。

台小農園には、子どもの育ちを願う地域の皆様の思いが溢れています。一朝一夕にできるものではありません。守り続けてくださったおかげで台小の財産となり宝物となりました。そして、その思いは子ども達の心に6年間響き続け、子ども達自身の財産となり宝物となっています。